

北の農職家

KITA NO NOUSYOKUKA

2024

5

No.329



津別町議会議員との意見交換会にて

開催日：3月27日(水)



第94回

通常総会開催

4月9日津別町中央公民館にて、正組合員201名に対し(本人出席54名、委任状11名、書面議決104名)合計169名となり過半数以上の出席が認められ本総会は成立しました。来賓10名の出席により第94回通常総会が開催されました。

佐野成昭組合長からの開会挨拶の後、来賓を代表して佐藤多一津別町長、JA北海道中央会北見支所松原健治支所長よりご祝辞を頂きました。

総会議長団には、恩根地区(第9営農組合)真木喜一氏と相生地区(第11営農組合)市場達也氏の両氏が選出され全て承認可決されました。令和5年度事業利益は、前年度繰越額18,875千円当期剰余金36,739千円 税効果積立金取崩額1,673千円を加えた57,287千円を未処分剰余金処分案として計上されました。

安部仁職務代行理事より閉会の挨拶を行い本総会を閉じました。又、今回の総会記念品は、つべつ和牛の消費拡大を考慮し、つべつ和牛カレー2個セットを後日配布致しました。

組合長挨拶



開会挨拶

佐野 成昭 組合長

本日は津別町農業協同組合、第94回通常総会開催にあたり、組合員の皆様には大変お忙しい中、多数のご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

日頃より当事業に對しまして、ご理解とご協力賜り、重ねてお礼を申し上げます。また、ご来賓の各位におかれましてはご多忙のところ、ご臨席を賜り、日頃より地域農業の発展と農業事業運営に對しまして、ご指導、ご支援をいただいた事に、心より感謝申し上げます次第でございます。この場をお借りして厚くお礼を申し上げます。

私が組合長に就任してからの4年間で大きく世界情勢が変化し、この事により国内情勢も変化し、資材高騰、円安、気候変動の影響を受け農業経済は窮地に立たされる状況となりました。この状況を如何に克服して農畜産業を維持するか、これからの大きな課題でもあります。私達JAグループは現場の声を届けるため中央要請、地元国会議員への働きかけを共にして来た所ではあります。組合員皆様がおっしゃる結果には至って居ないものの、要請内容は十分に理解して頂いてる物と捉えております。本国会では既に食料農業農村基本法の審議に入っておりますが、現場の意見を少しでも反映させ、国民に必要な食料供給を持続的に生



来賓挨拶

佐藤 多一 町長

産出来る様、これからの必要に応じ要請活動を継続して参ります。

本年の作況につきましては、春の植え付けは順調に推移したものの6月の降雹により、てん菜、馬鈴薯、豆類に被害が出ました。その後は、日照時間や適度な降雨もあり小麦は平年以上の作柄となりましたが、盆明け以降の猛暑により甜菜の糖分や澱粉馬鈴薯のでんぶんの低下、そして青果物の品質低下が見受けられ気象変動に苦勞した年となりました。

酪農畜産でも猛暑の影響を受け、生乳生産も伸び悩み、個体販売価格の低迷と配合飼料の高止まりにより、大変厳しい経営環境を強いられ組合員にとっては満足のない一年となりました。

農産販売高42.9億円(交付金込)畜産販売高34.0億円 合計76.9億円(前実績対比93%) 購買供給高32.1億円(前実績対比101%)の実績であります。改めて組合員皆様様の一年間のご苦勞とJAをご利用頂いた事から敬意と感謝を申し上げます。

今後、肥培管理を徹底し被害を最小限に抑えた安定収量、コスト削減に向けた取組等、抜本的な営農改善が重要になります。天候は毎年同じとは限りませんので、去年の課題点について繰り返し事のない様、本年の営農に活かして頂きたいと思っております。

尚、本年は第10次振興計画の策定年に当たり、各策定委員にご協力頂きながらの審議となりました。第9次農業振興計

画の5年間では、予期もしない世界的な新型コロナウイルスの拡大、ウクライナ紛争と全世界を震撼させる出来事を経験したからこそ、この事実に向き合い、組合員として何が出来るか将来の指針となる計画となつていきます。JAとしても農業振興計画及び中期経営計画を中心として事業展開して参ります。

組合員の皆様には厳しい営農環境ではありますが、JA運営もインフレによる物価高の影響により本年から各種利用事業の利用料見直し、R7年からは賦課金の見直しをお願いする所であり、鹿柵延長費用、不感地区解消の費用とDXによるペーパーレス化を推進し時代変化に適時対応し、持続可能な農業の推進に必要な費用と考えていますのでご理解のほど宜しくお願い致します。

小麦乾燥施設増設改築工事は老朽化した設備の能力向上と各工場間の麦搬送量の増強により効率化が上がりスムーズな受入体制が構築出来るかと期待しています。合わせてスケール棟、麦検査施設は新設しオートメーション化を進めました。

収穫作業はホクレンGISシステムを導入し、圃場管理含め収穫集荷のデジタル化を進め、作業効率と人手不足に対応出来るシステムとなります。この事により少ロットを活かしたこだわりの産地作りや製粉会社との提携により、付加価値の高い商品作りを小麦振興会と一体となり推進し、重ねて高品質小麦生産に取り組み所得向上と持続的農業の発展を目指



来賓挨拶

JA北海道中央会北見支所
松原 健治 支所長



J A 綱領朗唱
J A つべつ青年部
池田 健太 部長

して参ります。

国営事業は本年をもつて最終年になります。この事業により急な天候異変に耐えうる各圃場の整備が進み、大型機械が雨後でもスムーズに稼働でき、作物の安定収量・品質、更には効率運用によりコスト削減が期待できます。

尚、道営事業も同時に進めておりますが、R7年以降も国営事業から漏れた農地や未整備圃場もあることから、R9年より事業を開始する計画を立てています。進化するスマート農業の進展に対応すべく土地改良は、今後も継続的に進めて参ります。

ロシアのウクライナ侵攻後、食料危機が発生しました。中東情勢の緊迫により海運に混乱が生じ、更には地球温暖化により農産物生産が不安定になり、食料安定生産に懸念が生じました。

国が食料の増産を農家に求めても、その能力が生産者側になれば意味がありませんし、農家は高齢化、担い手不足が深刻化するこの食料事情を踏まえ、国は四半世紀ぶりに食料、農業、農村基本法改正の法案審議も始まりました。

新法が実態に即した物になる様、国に働きかけて行くと共に、過度な輸入依存から脱却し、国内の農業生産の強化と適切な価格形成が図られ、安定した農業所得を確保出来ることが必要であります。我が国最大の食料供給地としての役割を果たしながら、国民への食料安定供給を通じて食料安全保障の強化に最大限に貢

献できる様、国会での審議を注視して参ります。

又、J A グループ代表として現職である山田としお氏が勇退するに当り、来年7月の参議院選挙に北海道のJ A グループで組織する北海道農協政治連盟では、本道農業・J A を取り巻く環境が厳しさを増す（北海道から農民代表を国政に送るべき）との意見をふまえ、現在、ホクレン代表監事で、J A 道北なよろ会長である東野秀樹氏を全国J A グループの推薦候補とすべく、擁立した経過にあります。

これまでも、山田としお・藤木しんや両氏を我々の代表として、送り出してきましたが、回を重ねるごとに投票数を減らし苦戦を強いられています。今回、新たな候補者として、この厳しい局面を打開すべく東野秀樹氏を自らの代表として選出決定いたしました。

組合員、役職員一人一人が自らの組織への結集を通じ、我々の思いを政策として実現出来る候補と確信しております。そのためには、地元北海道として支援の輪を広げていく必要があります。組合員皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

これからの営農については、変化の激しい時代に入り、新たな取り組みが必要とされ、同時に新たな課題も出てきます。食料や農業を取り巻く環境が大きく変化の中で、多くの課題があるからこそ組合員の期待を強く感じております。



長瀬 信一 代表監事



閉会挨拶
安部 仁 職務代行理事

10次の振興計画の実践により組合員の期待に応え、役職員が一九となり5年後、2028年の目指す姿の実現に向けチャレンジを続け、これからの時代を組合員と共に築いて参りたいと願っております。

協同組合は、同じ目的を持った個人、事業体が集まり、お互いに助け合う組織です。協同組合は、組合を組織するものが事業の利用者であり、同時に組合の運営者でもある事が特徴です。出資者が利用者であり運営者であると言う事です。つまり、組合員が利用して頂けなければ成り立たない組織と言う事に繋がります。

これから、更なるJ A への結集をお願い申し上げますと共に、今後とも組合員皆様が夢と希望を持って営農と生活が持続出来る環境を整え、組合員のお役に立てるよう全力で取り組んで参ります。

最後になりますが、本年も組合員、ご家族様が健康で災害も無く豊穡の出来秋を迎える事が出来ますよう心からお祈り申し上げます。



▲議長団に左から真木喜一氏、市場達也氏



▲役職員席



▲全体出席者



▲全体出席者



▲来賓席



▲全体出席者



▲大豆数量払交付金の支払いに対する質問をする軍司照仁氏

■質疑応答
大豆の数量払い交付金について、本来3月に支払されるものが、大豆の調製の遅れにより5月支払いとなり遅れが生じた。他の所は、3月末に支払を済ませているのに何故農協は、対応できないのか。この様な対応の遅れが、農協離れに繋がっているのではないか。

美都地区…軍司 照仁氏

津別町議会議員との意見交換会を開催

3月27日に農協の役員会議室において、津別町議会議員との意見交換会を開催しました。

この取組は、第30回 J A 北海道大会において取組むべき大会決議として承認された「対話活動」の一環として北海道農業や J A に関する地域住民や関係機関へ理解醸成を目的に開催し、既に建設業協会との意見交換会を始めとして実施して来た経過にあります。

今回は初めとなる津別町議会議員との意見交換を開催し、将来に向けた津別町の農業振興対策にあたり幅広い見地から意見を頂きたく実施致しました。

鹿中議長からも「議員に当選した平成元年の農村議員は18名中9名でありましたが、現在は私1人となっております。現状を把握する上でも有意義な時間になりますようにと挨拶を頂きました。

岡本常務より J A が現在取組んでいる農業振興対策や、その取組に対して津別町より支援、協力頂いている内容について説明致しました。

各議員からは、J A の概要を始めとして、てん菜の振興対策、酪農・畜産情勢、農畜産物の価格転嫁への波及、鹿防護柵設置の取組、通信不感地帯への推進、堆肥センター運営、J A 合併など多岐に亘る意見や質問が出され、農業・J A 情勢を理解頂けた充実した意見交換が行われました。



第三回理事会報告

開催日 令和6年4月18日

報告事項

- ① 令和6年3月末財務状況について
- ② 第94回通常総会の終了について
- ③ 令和5年度税申告概要について
- ④ コンプライアンス事故報告（下期事務ミス）について
- ⑤ 固定資産の取得について
- ⑥ 特定組合員の経営状況について
- ⑦ 各作物の状況及び生産者団体の活動状況について
- ⑧ 各課報告事項について

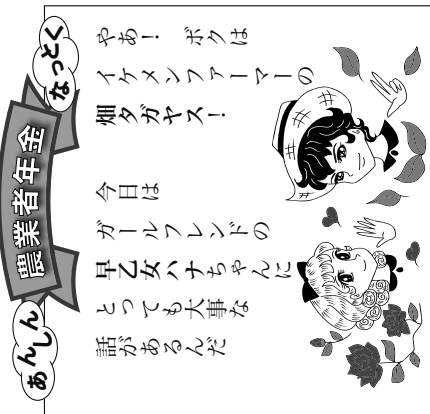
付議事項

- 議案第1号 令和6年度理事報酬額並びに支給方法について
- 議案第2号 道条例検査の回答について
- 議案第3号 美幌地方農産加工農業協同組合連合会への役員推薦について
- 議案第4号 準職員就業規則の改定について
- 議案第5号 経理規程の改正について
- 議案第6号 共済規程の改正について
- 議案第7号 出資金の持分譲渡について

協議事項

- ① 特定組合員の対応について
- ② 小麦収穫委員会について
- ③ 地区組織の補助事業について
- ④ 通常総会終了後の経過について
- ⑤ 地区懇談会の進め方について

第1話 知らなきゃ結婚できない!? 編



まんが/大山きいろ ©kosepro

あんしん **NEN** なっとく 農業者年金

JAグループ



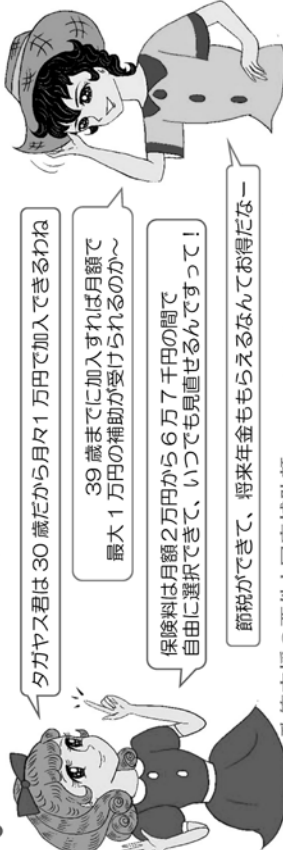
農業者年金は
若いうちに
加入するニヤリ!
なぜにやら...

保険料が自由に選べて 国庫による手厚い補助も!



こんなにメリット
がいっぱい!

35歳未満なら1万円から加入できます!(一定の要件あり)
1万円の自己負担で2万円分の積み立てが可能(1万円=国庫補助)
支払った保険料は税金から控除



保険料は月額2万円から6万7千円の間に
自由に選択できて、いつでも見直せるんですって!

節税ができて、将来年金ももらえるなんてお得だなー

政策支援の要件と国庫補助額(保険料は本人負担分と補助分合わせ月2万円)

区分	必要な要件	本人負担の保険料※(内は国庫補助額)	
		35歳未満	35歳以上
1	認定農業者かつ青色申告者	1万円	(1万円) 1万4千円 (6千円)
2	認定就農者かつ青色申告者	1万円	(1万円) 1万4千円 (6千円)
3	区分1または2の要件を満たしている者と家族経営協定を締結し、経営に参画している配偶者または直系卑属	1万円	(1万円) 1万4千円 (6千円)
4	認定農業者または青色申告者のいずれか一方を満たす農業経営者で3年以内に区分1の要件を満たすことを約束した者	1万4千円	(6千円) 1万6千円 (4千円)
5	区分1または2の要件を満たしていない者の直系卑属であり、35歳まで3年以内に区分1の要件を満たすことを約束した者(25歳未満の者は10年以内)に区分1の要件を満たすことを約束した者	1万4千円	(6千円) —



農業者年金の内容やご相談は最寄りの農業委員会かJA、または農業者年金基金にお問い合わせください。

独立行政法人農業者年金基金
39才以下向けチラシ(令和5年5月版)より

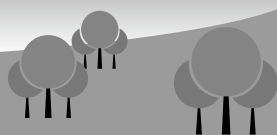
Facebook QR Instagram QR



JAつべつ青年部活動をSNSページにて随時更新中です!
是非ご覧下さい! Facebook、Instagram



JA情報館



JA青年部春季懇談会を開催

4月3日JA会議室において、①部会制（仮）のネーミング及びグループ分けについて、②道内研修について、③スポーツ交流会について、④その他、を議題に会員25名、JA職員2名の合計27名の出席により開催しました。特に道内視察研修及びスポーツ交流会等については、イベントチームにて、後日協議することで決定しました。



第12回津別町農業法人会定期総会を開催

3月29日JA会議室にて津別町農業法人会（羽田野慎也会長）は、令和5年度定期総会を開催しました。法人会役員3名、来賓として佐野組合長と町も参加、普及センター河田普及員、会員7法人9名、JA職員3名の合計17名が出席しました。開会にあたり、羽田野会長が開会挨拶をした後、来賓挨拶として佐野組合長が祝辞を述べました。羽田野会長が議長を兼任し議事進行が行われ、全ての議案が承認可決されました。

総会終了後、北海道信連北見支所大江職員より、「北農5連サポート事業について」の説明を受けました。



▲羽田野会長



第8回津別町スマート農業研究会定期総会を開催

3月29日JA会議室にて津別町スマート農業研究会（谷智博会長）は、令和5年度定期総会を開催しました。スマート農業研究会役員5名、来賓として佐野組合長、津別町産業振興課上原主査、網走農業改良普及センター美幌支所 河田専門普及員、会員25名、JA職員3名の合計37名が出席しました。開会にあたり、金一副会長が開会挨拶をした



▲金一副会長



▲柏木議長

後、来賓を代表して佐野組合長が祝辞を述べました。柏木守氏を議長に選出し議事進行が行われ全ての議案が承認可決されました。

総会終了後、楊准教授より「令和6年度次世代スマート農業技術の改良・開発・実用化事業について」各種実験内容等の講演を頂きました。今後の事業推進に繋がる有意義な講習会となりました。



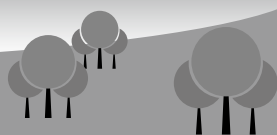
甜菜育苗視察研修会を開催

4月8日日甜(株)津別原料事務所 阿部所長と佐藤職員、甜菜振興会(山辺一記会長)役員7名、JA職員3名の合計13名出席により、甜菜育苗視察研修会を開催しました。津別町全体の生育状況は概ね順調であり、今回2戸を巡回し、育苗センター、自家苗・短ポットと全品種の育苗を視察しました。本葉も出ており順調に生育していました。





JA 情報館



種子馬鈴薯春引渡しを実施

種子馬鈴薯生産者は3月28日から、一般生産者については4月2日からそれぞれ4月22日までの日程で、種子馬鈴薯の引渡しを活潑事業所構内にて実施しました。

一般生産者への引渡し品種と数量は、男爵92.4t、トヨシロ109.45t、ぼろしり310.95t、きたひめ35.9t、スノーデン172.35t、コナヒメ264.25tの合計6品種(一部品種除く)で出荷数量合計は、985.3tを品種毎に引渡日を設けて引渡しを行い、町外生産者へは105.26tの引渡しとなりました。今年の規格はM・Sを中心に配分しております。



共済一斉推進の御礼について

4月3日から3日間の日程で、共済連北見支所推進グループ坂本課長と山田主査の御協力を頂き、併せて各課職員の応援のもと3班体制にて長期共済一斉推進を実施致しました。

3日の朝礼では、共済連北見支所草富次長から昨年度の目標達成の御礼とオホーツク管内トップバッターの共済推進で「大谷翔平のようなクリーンヒットを打って欲しい」と新事業年度の共済一斉推進に対し激励を頂いた後、各地区毎に推進に向きました。春耕開始前の準備で忙しい時期ではありましたが、組合員の皆さまには担当者からの説明に熱心に耳を傾けて頂きました。

今後も『ひと・いえ・くるま』の最適保障を組合員や地域の皆様に提案させて頂き、安心と親しまれるJA共済を目指して共済事業を進めてまいりますので、ご愛顧の程宜しくお願い致します。

【推進結果】	保障目標	60,000万円	推進実績	36,128万円	目標対比	60.2%
	推進PT目標	100,000PT	推進実績	120,181PT	目標対比	120.2%

女性部・フレッシュミズ二部合同パン作り講習会実施

4月16日津別町食品加工研修センターにて、JAつべつ女性部(金田美喜恵部長)とJAつべつフレッシュ・ミズ(金一和美会長)の二部合同で、12名(女性部家族1名含む)参加のもと第2回パン作り講習会を開催しました。

今回は、昨年に引き続き日本甜菜製糖(株)総合研究所 食品事業支援室の高柳太志技術チーフと岡島氏を講師に迎え、津別産小麦キタノカオリ及び津別ブレンド小麦粉と日甜の「とかち野乾燥酵母」を使ったパンを作りました。種類は、あんパン・バターロール・揚げパン・手ごねピザ・食パン等の10種類のパンを作り大変好評で、ふんわりと膨らんだパンが美味しく焼き上がりました。特に揚げパンにてんさい糖をまぶし、中にクリームを入れたパンは大好評でした。



令和6年度 第1回小麦青空講習会を開催

4月12日網走農業改良普及センター美幌支所を講師に招き、当初、大昭地区きたほなみ圃場、高台地区ゆめちから圃場、達美地区、きたほなみ圃場の3カ所で現地講習を予定していましたが、降雪による圃場状態を考慮し、JA会議室にて生産者23名、普及センター2名、JA職員6名の合計31名参加のもと第1回小麦青空講習会を開催しました。講習

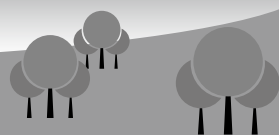
内容は、津別町の秋まき小麦の起生期は4月7日から迎えており、技術対策として、圃場に入れるようになったら追肥のタイミング等の説明を受けました。

又、強風対策でタイヤローラーによる鎮圧作業の必要性の説明がありました。次回の青空講習会は5月下旬を予定しています。





JA情報館



野生動物の増加により全国で鳥獣害発生件数が増加中!! 鳥獣害対策のため「鹿ソニック」の試験設置

鳥獣害対策について、令和5年6月13日の会議にて、「長崎県農林技術開発センター」と「津別町関係者」との意見交換会が行われ、国のスマート農業実証実験に基づき、「戦略的スマート農業技術等の開発・改良」の事業採択になったことにより、鳥獣害対策として実施されました。

鹿ソニックとは、鹿などの野生動物と自動車との衝突事故削減のため、ティ・エム・ワークスが、高周波技術によるロードキル対策製品として開発されました。

その後、各方面で試験が進み、現在では、鉄道・農業・漁業・キャンプ場・ゴルフ場・ゴミステーションなどの多方面で諸事情の場面で普及しています。

又、岡山理科大学辻教授と共に各地で実証実験が行われ、2021年から毎年論文が発表されています。

尚、特に鹿による作物への被害を減少させるため、人間には聞こえにくい音を発することで動物に警告を与えるものです。この度、上記の経過及び目的を踏まえて、鹿対策のため、『鹿ソニック』を(有)木樋桃源ファーム様及び(有)矢作農場様の圃場に試験設置し経過を観察する事としています。



▲鹿ソニック設置 木樋桃源ファーム圃場



▲鹿ソニック設置作業



▲鹿ソニック本体

北海道猟友会津別支部総会及び第42回射撃大会の開催

4月6日支部会員27名出席のもと、ランプの宿森つべつにおいて猟友会津別支部（大矢根修一支部長）の総会が開催されました。来賓として伊藤津別副町長、JAつべつ佐野組合長の祝辞を賜るとともに、提起された議事は、議長に選任された中山貴行さんの進行により、全てが承認されました。

尚、役員改選については、現職は留任致しましたが、監事は、新たに尾形良二氏と岡本功夫氏が選任されました。

又、当日の午前中は第42回射撃大会が恩根射撃場で開催され、日頃鍛錬された技術を競うと共に親睦が図られました。

射撃大会成績は以下の通り（敬称略）

ライフル銃の部	1位 建石 博	2位 石原 薫	3位 岡林 博善
散弾銃の部	1位 尾形 良二	2位 村田 達也	3位 大松 寛敬
空気銃の部	1位 建石 博	2位 星 幸司	



▲佐野組合長 来賓挨拶



▲散弾銃の部 第1位 尾形良二氏



▲ライフル・空気銃の部 第1位 建石 博氏

玉葱育苗視察研修会を開催

4月10日玉葱生産者（真木喜一玉葱振興会長）19名、普及センター中野専門普及員とJA職員5名の合計25名出席により、玉葱育苗視察研修会を開催しました。極早生品種を中心に4カ所を視察し、生育については、全体的に順調でしたが、3月の低温により一部の苗に凍害が見られました。

普及センターより生育については、移植に適した苗の育苗は、育苗育成には温度・湿度・かん水の3点が重要であり、立枯病などの病害に負けない葉数・葉鞘径が適切な健苗の移植が大切であると説明を受けました。

木俣囑託からは、肥料高騰に対するコスト削減、安定生産のため、玉葱に対するリン酸減肥の効果について、説明を受けました。又、今年度は、高温傾向が懸念されるので軟腐病やタマネギアザミウマに注意するよう説明がありました。



▲(株)矢作農園



▲(株)丸尾農産



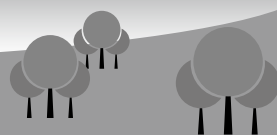
▲双葉アグリ(同)



▲鹿中一彦氏



JA情報館



スタンド夏タイヤフェアを2日間実施

4月12日・13日の2日間、ホクレン津別セルフ給油所ではホクレン北見支所 岩田職員や3社のタイヤ販売業者のご協力を頂いて夏タイヤフェアを実施しました。フェア期間中にガソリン・軽油が店頭価格より3円(税込)/ℓ引きとなり、更に20ℓ以上給油されたお客様には、BOXティッシュ5箱入を1パックプレゼントしました。来客台数は延べ675台、供給数量は16.5kℓでした。

5月31日までは、ホクレンブランドオイル(税込3,000円以上)にてオイル交換されたお客様には、BOXティッシュ5箱入を1パックプレゼント実施中です。当給油所でタイヤ交換と合わせて是非ご利用下さい。



令和5年度津別町乳質改善共励会表彰式

4月19日JAつべつ会議室にて、令和5年度津別町乳質改善共励会表彰式が行われました。町内の酪農家から出荷された牛乳において、毎月3回上旬・中旬・下旬ごとに検査(年間36回)される体細胞数・生菌数が最も少ない生乳を出荷した生産者が受賞となります。今年の受賞者は、最優秀賞に(株)柏葉ファーム 柏葉宏樹さん、優秀賞に織田達明さん、努力賞に石川和男さんが受賞されました。



▲左から石川和男氏、(株)柏葉ファーム 柏葉宏樹氏、中田会長、織田達明氏

令和5年度 津別町酪農振興会通常総会・津別町酪農ヘルパー組合定期総会を開催

4月19日JA会議室にて、会員7名、来賓7名、JA職員4名の合計18名の出席のもと津別町酪農振興会(中田晃一朗会長)は第75回通常総会並びに津別町酪農ヘルパー組合(中田晃一朗会長)は第32回定期総会を開催しました。

開会にあたり、中田会長が開会挨拶をした後、来賓を代表して当JAの佐野組合長と津別町石川産業振興課長が祝辞を述べました。

その後、議長に石川和男氏が選出され議事進行が行われ、全ての議案が承認可決されました。



▲中田会長挨拶

第25回津別町有機酪農研究会通常総会を開催

津別町有機酪農研究会(石川賢一会長)は、4月26日JA会議室にて、会員3名と来賓10名、JA職員4名の合計17名の出席のもと、令和5年度通常総会を開催致しました。開会にあたり、石川会長が開会挨拶をした後、来賓の佐野組合長、(株)明治 引地部長、津別町 石川産業振興課長より祝辞を賜りました。

その後、石川会長が議長を兼任し議事進行が行われ、議案第1号から議案第4号までの全ての議案について承認可決されました。役員改選については、現役員の通り、会長石川賢一氏、副会長(株)E・H・F代表 山田耕太氏、監査柏葉宏樹氏で再任されました。

総会終了後、引き続き「リジェネレイティブ農業について」と題して、北海道大学大学院農学研究院 小林国之准教授による講演を行いました。有機酪農は、土を育てることが全ての基本にある。土を育てるためのプロセスの必要性を説かれました。



▲石川会長挨拶



▲小林国之准教授

営農課からのお知らせ



5月中旬～6月中旬までの営農技術について

畑作物

【秋まき小麦】

幼穂形成期を過ぎて、出穂期までの大事な時期です。特に止葉期の施肥管理は小麦にとって特に重要なポイントとなります。天候にも左右される時期ですが、生育の状況に合わせた最後の追肥を行うことで、収量・品質の安定化を図りましょう。

茎数は多すぎませんか。草丈は伸びすぎていませんか？

「きたほなみ」は幼穂形成期の茎数が900本/㎡を超える場合、倒伏のリスクが高まります。昨年は種が遅れていることから茎数は少なめの圃場が多いようですが、平年並みには種が終了できた圃場や大豆間作小麦では茎稈伸長抑制剤を使用して下さい。

■秋まき小麦 茎稈伸長抑制剤

薬 剤 名	使用時期	10a当たり 使用量	10a当たり 散布水量	使用 回数
サイコセル P R O	幼穂形成期 (5月7日頃)	150～200mℓ	100ℓ	2回
	小麦出穂前20日～10日 小麦の草丈 (40～60cm) (5月25日～6月5日)	200～300mℓ		
カルタイム フロアブル	止葉期 (止葉50%展開) ～ 出穂5日前まで (5月30日～6月3日頃)	150mℓ	100ℓ	1回
エスレル10	止葉期～出穂始期 (5月30日～6月7日頃)	200～333mℓ 少水量散布 200mℓ	100ℓ 少水量25ℓ	1回

※サイコセルは秋まき小麦で2回使用できるようになりました。すでに幼穂形成期にサイコセルを使用した場合でも出穂前に使用できます。使用量に注意して下さい。

■春まき小麦 茎稈伸長抑制剤

薬 剤 名	使用時期	10a当たり 使用量	10a当たり 散布水量	使用 回数
サイコセル P R O	小麦6葉期前後 小麦の草丈 (30～40cm) (6月1日頃)	150mℓ	100ℓ	1回
カルタイム フロアブル	止葉期 (止葉50%展開) ～出穂始期 (6月13～22日頃)	150mℓ	100ℓ	1回
エスレル10	止葉期 (6月13日頃)	200～333mℓ	100ℓ 少水量25ℓ	1回
	出穂始期 (はじめて出穂を見た日から20% 出穂まで) (6月22日頃)	100～200mℓ		

※春まき小麦のエスレル10の使用は上表の2つの時期のどちらか1回の使用となります。

病害虫 (うどんこ病、赤さび病、葉枯症状、ふ枯病) の発生し始める時期です。止葉とその下2枚の葉は成熟期まで実に養分を送る重要な役割をしています。圃場の観察を行いながら、早期発見に努め、見つけしだい防除を実施し葉を守って下さい。

【豆 類】

播種時期になってきます。豆類は土壌水分が抜けにくい土壌では、健全な生育ができません。根は根粒菌も含め、空気を必要としていますので明渠の整備、暗渠の確認、簡易暗渠（サブソイラ等）の施工を行い土壌の透排水性を改善してから作付けを行って下さい。生育初期に土壌水分が高い状態が続くと生育抑制がかかります。

播種に当たって、圃場の表面の播種床（地表5cm程度）の碎土は丁寧に行ってください。

【ばれいしょ】

除草剤は使用時期・対象雑草を確認し、散布時期を逸しない事が重要です。作型を考慮の上適切な対応をお願いします。

除 草 剤 名	処理方法	散布時期	使用回数	10a当たり 使用量	10a当たり 希釈水量	対象雑草
ロ ロ ッ ク ス	全面土壌散布	植付直後～萌芽前 (雑草発生始期)	1	100～150g	70～150ℓ	1年生雑草全般 (スズメノカタビラを含む)
ラクサー乳剤	全面土壌散布	植付後～萌芽前 (雑草発生期)	1	400～600ml	100ℓ	1年生雑草
フルミオWDG	全面土壌散布	植付後～萌芽前 (雑草発生前)	1	10g	100ℓ	1年生広葉雑草
センコル水和剤	全面土壌散布 または 雑草茎葉散布	植付後～萌芽直前	1	100g	100ℓ	1年生イネ科雑草及び広葉雑草 (ツユクサに効果あり)
デュアルゴールド	全面土壌散布	植付後～萌芽前 (雑草発生前)	1	100～130g	70～100ℓ	1年生雑草 主にイネ科
モーティブ乳剤	全面土壌散布	植付後～萌芽前 (雑草発生前)	1	200～400ml	70～150ℓ	1年生雑草
ポルトフロアブル	雑草茎葉散布	イネ科雑草3～8葉期 (収穫前日まで)	1	200～300ml	100ℓ	1年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)
ナ ブ 乳 剤	雑草茎葉散布	1年生イネ科雑草3～5葉期 (収穫前日まで)	2	150～200ml	100～150ℓ	1年生イネ科雑草 (スズメノカタビラを除く)
		1年生イネ科雑草6～8葉期 (収穫前日まで)		200ml	100ℓ	

【てんさい】

6月上旬の活着状況によって、その年のてんさいの良し悪しが決まってきます。

てんさいも土壌水分過多を嫌いますので、定植後のサブソイラ施工や、中耕をこまめに入れるなど、土壌環境を整えて下さい。

各作物の農薬散布に当たっては、周辺作物への飛散が無いように、風向きや風速を考慮して防除を行って下さい。

第9回網走川流域の会総会を開催

4月12日津別町中央公民館において、網走川流域の会第9回総会が開催されました。オホーツク総合振興局地域産業担当部長 斉藤智浩氏・津別町長 佐藤多一氏の祝辞を賜った後、議長となった新谷会長（網走漁協組合長）の進めにより議事は全て可決承認されました。本年度は、組織内に「酷暑対策プロジェクト会議」を設置することを決めました。又、気候変動による一次産業への被害など課題解決に向け、情報を共有し、調査を進めることとしました。

総会後は、会主催のシンポジウムが開催され、研究者2人が網走川と流域の網走湖の生物についての研究発表を行いました。今回は、道立総合研究機構エネルギー・環境・地質研究所環境保全部水環境グループの三上英敏主査が「網走湖の環境特性と植物プランクトン」、東京農大生物産業学部海洋水産科学の園田武助教が「シジミから見る網走川の流域環境」と題して、講演を行いました。三上主査は、網走湖について、面積が広く、自然の状態より栄養分が増えすぎた富栄養化にあることで、富栄養化の原因は、有機物が『水清くして魚住まず』とのことわざの通り、ある程度は必要」と指摘しました。原因となる窒素やリンのコントロールが大事になると説明頂きました。



年金友の会情報

第1回 ゲートボール大会

開催日：令和6年4月4日（木）

開催場所：豊永 屋内ゲートボール場

参加人数：30名（男：18名 女：12名）

優勝 柏木チーム

（柏木茂 佐藤正明 鍛冶博光
五島良雄 山下昌子）

準優勝 井上チーム

（井上隆幸 土江幸子 細川順弘
奥村照子 竹内武二）

3位 堂藤チーム

（堂藤優 佐藤朝代 佐藤卒子
幅口悦子 篠原恒子）

4位 山田チーム

（山田照夫 小野勇 館野ヨシ子 溝渕サカエ 鵜田康史）

5位 丸尾チーム

（丸尾諭 佐野信子 笠井キヨ子 藤原熊男 西前英雄）

6位 鹿中チーム

（鹿中順一 細川恵市 手賀武一 長尾隆行 野本弘子）



▲優勝：柏木チーム（左から山下昌子、五島良雄、鍛冶博光、柏木茂、佐藤正明）

新人職員紹介

すずき ゆうほ
鈴木裕生歩 (25歳)

【総務部 金融共済課】

出身地：北見市
最終出身校：北星学園大学
趣味：パンを食べる事・ドライブ



■ J A職員としての抱負 ■

前職での会計業務の経験をうまく生かしながら、新しいことを日々吸収し、J A職員の一員として少しでも早く、皆様のお力になれるよう、努力して参ります。

組合員の皆様に馴染めるように、積極的な姿勢を忘れず笑顔で日々業務に取り組みますので、これからどうぞ宜しくお願いします。

いはら
伊原みづき (18歳)

【総務部 金融共済課】

出身地：美幌町
最終出身校：北見商業高校
趣味：ドラマ鑑賞



■ J A職員としての抱負 ■

高校を卒業したばかりで、まだ未熟ですが、商業高校で学んだ簿記や知識を活かして一生懸命頑張ります。

早く一人前の社会人になり、職場の皆さんや組合員さん、お客様のお役に立てるよう、日々成長していきたいです。宜しくお願いします。

あおやま りゅうと
青山 龍人 (23歳)

【営農部 営農課】

出身地：津別町
最終出身校：弘前大学
趣味：映画鑑賞



■ J A職員としての抱負 ■

まだ右も左も分からず、不安は、たくさんありますが、まずは、いち早く業務を覚え、報告・連絡・相談を欠かさないことを心掛けたいと思います。

それとともに、社会人としても、人間としても一人前になれるように業務を通じて成長していきたいと考えています。

たか のりょういちろう
高野稜一郎 (22歳)

【経済部 農産課】

出身地：静岡県沼津市
最終出身校：東京農業大学
趣味：魚釣り・アニメ鑑賞



■ J A職員としての抱負 ■

本年度より、農産課に配属となりました。玉葱振興会青年部や澁原馬鈴薯を担当させていただきます。私は、生産者様に信頼して頂ける職員になりたいと考えております。そのためには、生産者様と積極的にお話させて頂き、ご意見やご要望をしっかりとお聞きし行動して参ります。又、上司の姿を見て学び仕事の中で実践していくことで、生産者様に信頼して頂ける職員になれるよう精進して参ります。

よしだ りょう
吉田 凌 (22歳)

【経済部 生産資材課】

出身地：網走市
最終出身校：札幌大学
趣味：ドライブ

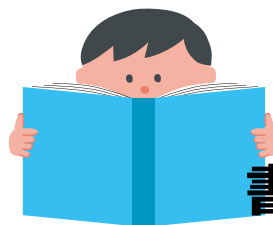


■ J A職員としての抱負 ■

組合員さん、お客さんの皆さんに顔を覚えてもらえるように積極的に交流していきたいです。

先輩からたくさんのことを学び、出来る限り早く仕事を覚えられるように精進していきます。

又、社会人として、一人の人間として成長していきたいと強く願っています。一生懸命頑張りますので、何卒ご指導のほど宜しくお願いします。



おすすめ 書籍のご紹介



絵本のように美しい
宿根草の小さな庭づくり
季節の花を長く楽しむ

5月下旬・6月上旬の主な行事

5月16日	木		6月1日	土	J A杯ゴルフコンペ
17日	金		2日	日	
18日	土		3日	月	経営会議
19日	日		4日	火	
20日	月	企画会議	5日	水	
21日	火	小麦乾燥施設竣工式	6日	木	玉葱振興会青年部50周年式典
22日	水				年金友の会ゲートボール大会
23日	木	年金友の会パークゴルフ大会	7日	金	
24日	金		8日	土	
25日	土		9日	日	
26日	日		10日	月	
27日	月		11日	火	
28日	火	理事会	12日	水	
29日	水		13日	木	企画会議
30日	木		14日	金	
31日	金		15日	土	

家

創刊100周年に向けて『家の光』が
2024年5月号から

＊ 誌面リニューアル!!

□IE no HIKARI

の

お申し込みは
お近くのJAへ

光

リニューアルの
ポイント

定価(税込)
●普通月号 629円
●付録月号(1・4・5・7・9月号) 922円
●家計簿付き12月号 1,027円

JAグループ 家の光協会 〒162-8448 東京都新宿区市谷船河原町11 TEL 03-3266-9039 <http://www.ienohikari.net>



表紙は
こんな感じ!
(デザインイメージです)

3つのもっと

カラーページを増やし
デザインを一新

活用しやすく
読み応えのある内容に

地域・JAに関する情報を充実

発行 津別町農業協同組合 〒092-0231 北海道網走郡津別町字大通30番地1
TEL0152-76-3322 FAX0152-76-3594 金融共済課直通電話 0152-77-3170
印刷 有限会社 サンケイプリント社

JAつべつ | 検索
<http://www.jatsubetsu.or.jp>